

菊水短歌会

はらわたに花の如くにひからせて  
とくとくと呑む肥後の赤酒  
肥後の赤酒少し含みて赤ら顔  
今年の干支に何をかけよう  
朱盃の赤酒一氣に干せば新春の味  
ほんのり紅顔夢はどこまで  
赤酒でうつすら紅さす新春の顔  
揃いの下戸たちおせち旨々  
この年の福を願ひて正月の  
朝にいたたく銀杯の赤酒  
幾たびの新春迎うるや赤酒を  
酌めばこころに翼生れくる

東 左千子  
坂本 竹子  
坂口志げ子  
荒木 智子  
池田たかお  
赤星 文恵

かなしき原俳句会

働ける幸せ勤労感謝の日  
意のままに揺られてゆられて枯すすき  
病む孫の回復祈る神の留守  
二百年口伝の子供神楽かな

克代 淑  
謙三 貞子

冬菜持ち朗報もちて友来る  
慈しむ冬日の中のマリア像  
天は碧地は霜柱阿蘇を行く  
湯豆腐と決めて京都の一夜かな

しん子 淑乃  
康子 弘子

菊水俳句会

あちこちに煙たなびく師走かな  
茶の花の陶器のような白さかな  
喪のがきぼつぼつ来たる冬はじめ  
百歳の終のすみかの霜夜かな  
銀杏黄葉天守修理の城下町  
日向ほこ初老となりしポチととも

原 かよ子  
池田 松子  
中山ミサト  
宮中 ミスエ  
宮中 康雄  
永田 紘彦

肥後狂句

秋祭り 神楽舞う子のむぞらしさ  
秋祭り 伝統神楽過疎の村  
いやらしか 特価品までこぎりよる  
いやらしか 紳士面して盗撮魔  
いやらしか とぜんなかるて擦り寄らす  
いやらしか いい年越えてまた浮気  
年の瀬 あれもこれもと気ぜらしか  
年の瀬 暦に体おつつかん  
年の瀬 杵つきの音懐しむ

後藤 撫子  
二瀬 桔梗  
高木せいや  
瀬上 歌子  
池田 茜  
井上りんどう  
福永すみれ  
庄山 道草  
石原かわせみ

人権の窓 20



地域人権教育指導員

緒方正雄

「いくつになっても

輝き続けるために」

「ほくのおばあちゃん」

ほくのうちは八百屋だ。「いらしゃい！」お父さんの元気な声が響く。「おばあちゃん座つとってください」気づかうお母さんのいつもの声。最近おばあちゃんには元気がない。

「いらっしゃい、いらっしゃい！」学校から帰ると、なんとおばあちゃんの声。「あれ、おばあちゃん一人？」「みんな配達にいつとるよ。今日は白菜がきれいですよ。はい、ありがとう」いつもと違ってイキキとして、ちよつとゆっくりだけど、野菜を包んでお金を受け取るおばあちゃん。

「よかれと思って『休んでいてね』って言っていたけど、おばあちゃんの楽しみを奪っていたのかもねえ」いつの間にか帰って来ていたお父さんとお母さんが、明るいおばあちゃんを見ながら話していた。

(県の啓発パンフより)

誰でも年をとると、心身の機能の低下がみられるものです。しかし、一人ひとり同じではなく、体力や判断の低下の度合いも人によって違います。

年齢だけで「高齢者は○○だ」と決めつける固定的な思い込みが、誤解や偏見につながります。

また、逆に「高齢者にそんなことをさせて…」などと高齢者を特別扱いすること、本人の意思が反映されていなければ、その人の人権を尊重したことにほならない場合があります。人は年をとりますが、いくつになっても、意欲と能力に応じて活動し、個人として尊重され、その人らしく暮らしていくことはだれもが望むことです。

私たちは、人生の先輩であり、社会を支えてきた高齢者に対し尊敬の念を忘れず、その人格を尊重することが大切なのではないのでしょうか。

高齢者の方々が、安心して充実した人生を送るためにも過ごしやすい環境づくりと周囲の意識（理解）をつくっていきましょう。

図書室 本紹介

三和市民館 図書室より



明けましておめでとつございます。今年も図書室のご利用をよろしくお願ひいたします。今年最初に紹介する本は、マラソンに  
関係する2冊とテレビで紹介された人気  
の本です。本町生誕の「金栗四三さん」  
の功績など記してあります。NHKの大  
河ドラマも決まり金栗さんの生き方に  
読んでみませんか。

最後の箱根駅伝

早坂 隆著

最後の箱根駅伝

早坂 隆著

正月恒例の箱根駅伝大会であるが、昭和16年1月の大会は《幻の箱根駅伝》と呼ばれている事をご存知でしょうか？戦時下で一旦中止に追い込まれた駅伝を復活させた思いなど知られざる箱根駅伝が綴られた一冊です。

マラソンと日本人

武田 薫著



開国後の日本は、外国人からさまざまなスポーツを学んだ。「走る」ことで国際的舞台での活躍を夢見た近代日本。「日本人はなぜ、マラソン好きか？」「日本のマラソンを世界に導いたランナーたちは何を想って走ったのか」我が国のスポーツ観の変遷をたどる一冊です。

漫画君たちはどう生きるか

吉野源三郎著



この物語は1937年に出版され、今もお読み継がれている歴史的名著といわれる小説です。人間としてあるべき姿を求め続けるコペル君と叔父さん。この本を読み終えたとき貴方の中にある人はどんな言葉を投げかけてくるのでしょうか？

1月リサイクル体験受講者募集

申し込み先：クリーンパークファイブ  
住 所：長洲町大字名石浜42番地1 ☎0968-78-4433

リサイクルプラザつうしん

日	時間	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
19日(金)	午後1時30分～3時	廃油キャンドルとキャンドルホルダー作り	職員	10名	電話受付	①1、2回使用した廃油(天ぷら油) 250cc ※汚れがひどいものは不可
					4日(木) 午前9時～ 15日(月) 午後4時	②空の1Lの牛乳パック1本
					希望者多数の場合の抽選日 17日(水) 午後1時30分	③牛乳パックを包める大きさの包装紙(好みの色、柄のもの) ④のり ⑤手ふきタオル

受付方法  
電話にて受付を行い、受講希望者多数の場合は抽選となります。その場合は、電話にてご連絡いたします。(必ず受付時、連絡の取れる電話番号をお願いします) 電話がない場合は、受講決定ですのでリサイクル体験講座開講日においでください。